

事業所名：有眼会社あすなるグループホームまごころ

作成日：2021年1月24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	『身体拘束は絶対にしない』という、意識を持ち制度の改正内容や身体拘束に関する勉強会をしていく	身体拘束を絶対にしない	職員ミーティングや2か月に1度の運営推進会議の場で制度改正の内容や身体拘束に関する勉強会をする	24ヶ月
2	13	ユマニチュードに基づいた介護の実践	見る・話す・触れる・立つの実践	職員ミーティングなどでユマニチュードを理解し①視線をつかむ②今までよりも3倍話す③大きく優しく触れる④立つことを重視し介護し過ぎないその分しっかり見守りをする	24ヶ月
3	19	利用者様・ご家族様との信頼関係を深め、共に安心して生活出来る様に支援していきたい	利用者様・ご家族様との信頼関係を深め、ご本人様とご家族様の絆を大切にしながら共に支えいく関係を築く	利用者様の生活状況の報告、ご家族様の要望、利用者様とご家族様の交流等、ご家族様との関係性を多くする。ご家族様宅への訪問・電話・手紙など	24ヶ月
4	26	認知能力や行動障害の背景(原因)・出来そうな事(目標)各活動の要望・解決策・ケアの留意点等をアセスメントに増やすと共にアセスメントをベースとして介護計画・日々の実践記録に連動させていく	アセスメントをベースとしてケアプランと日々の実践記録に連動させる	利用者様の背景・目標・各活動の要望・理解策・ケアの留意点等を改良したアセスメントの記載し介護計画・日々の実践記録に連動させる	24ヶ月
5	33	体調の変化時・緊急時・終末期において慌てず対応できる様にする。	基礎疾患に応じたケアの留意点・体調変化や終末期における留意点等を主治医に確認しながら、適切な対応が出来る様にする。	主治医との協力体制のもとご家族様との早目の話し合いを行い、終末期ケア・体調変化時・緊急時の適切な対応を行う	24ヶ月